

野村信介の村政と議会報告会

ようこそお越しくださいました！

令和5年6月25日





最後にアンケートに
お答えください

野村信介

nomclinic@outlook.jp

<https://nomuraclinic.pro/>

話題

- ・15：00～ お金のこと
医療のこと
- ・15：40～ メガソーラーのこと（三宅議員）
- ・16：00～分校のこと・農業のこと（伊川健一さん）
- ・最後の30分間を、みんなで討論 ～17：30



お金のこと

- ①認定こども園の建設費用について
(令和5年度第一回定例議会 予算決議の賛成討論)
- ②令和4年度の国民健康保険の赤字決算について
(令和5年度第二回定例議会 専決処分の承認討論)
- ③分校の運営経費について
(令和5年度第二回定例議会 一般質問)

①3月議会（令和5年度第一回） 一般会計予算決議の賛成討論



広報やまぞえ 5月号

①3月議会（令和5年度第一回） 一般会計予算決議の賛成討論

令和5年度 山添村の予算

特集

令和5年度 山添村の 予算

3月に開会された村議会定例会で、
令和5年度の予算が可決されました。
「やまぞえ未来創生計画」に基づいて
事業を実施していきます。

限られた財源をどのように活かして
いくのか、その概要をお知らせします。

岡 総務課

55 億 7,243 万円（前年比：0.1%）

認定こども園建設費用 6億7,169万円

一般会計 36億5,700万円（前年比：18.2%）

特別会計合計 19億1,543万円（前年比：22.6%）

広報やまぞえ 5月号

5月に入札 6月から工事着工

23年6月15日



論

⇒ 3月 5月 6月

3月2日議会資料（予算書案を含む）届く
 3月9日 予算の概要発表
 3月13日 文教厚生委員会
 3月20日 予算決議（全員一致で承認）
 5月 入札 建設業者決定
 6月 建設工事開始

節		明 説	
区 分	金 額		
	千円		千円
		害虫等駆除手数料	8
		筆耕料	7
		口座振替手数料	5
		検便等手数料	357
		機器等移設運搬費	885
		建築確認申請手数料	75
12 委託料	18,421	浄化槽維持管理委託料	257
		建築設備定期検査委託料	88
		施設清掃委託料	97
		プール保守点検委託料	87
		遊具点検委託料	83
		保育園通園バス運行委託料	7,062
		臨時職員派遣業務委託料（運転士）	261
		ボイラー保守点検委託料	5
		山添村認定こども園建設工事監理業務委託料	9,900
		栄養価計算システム保守委託料	338
		体操教室委託料	99
		複写機保守点検委託料	65
		水道受水槽清掃点検委託料	79
13 使用料及び賃借料	278	駐車場使用料	10
		通行料	15
		受信料	17
		ガス警報器リース料	3
		下水道使用料	180
		メール配信システム利用料	52
14 工事請負費	628,186	山添村認定こども園建設工事費	622,602
		山添村認定こども園建設付帯工事費	5,584
15 原材料費	30	施設修繕材料費	20
		補修等材料費	30
17 備品購入費	28,700	山添村認定こども園厨房設備購入費	7,700
		山添村認定こども園関連備品購入費	21,000
18 負担金、補助及び交付金	350	園児団体傷害保険料等	83
		県保育協議会等負担金	38
		保育士研修会等負担金	229
26 公課費	76	自動車重量税	76

2022年春

設計者に伝えられ、関係部署らが検討
 公聴会で得られた意見をまとめ
 どんな施設が良いか、委員の公募 公聴会

①3月議会（令和5年度第一回） 一般会計予算決議の賛成討論

2022年春 ⇒ 秋 ⇒ ⇒ 2023年 ⇒ ⇒ 3月 5月

どんな施設が良いか、委員の公募 公聴会

公聴会で得られた意見をまとめ

設計者に伝えられ、関係部署らが検討

こんな感じになると動画などを閲覧



3月2日議会資料（予算書案を含む）届く

3月9日 予算の概要発表

3月13日 文教厚生委員会

3月20日 予算決議（全員一致で承認）

5月 入札 建設業者決定

6月 建設工事開始

小中一貫教育のこと

義務教育学校を目指して動き始めた。

当初は令和8年に設立を目指すと言われていたが、

小中一貫教育検討委員会から
(村教育長の委嘱を受けて)

設立の場所や時期については、十分に検討するように
答申を受けた。

②6月議会（令和5年度第二回） 国民健康保険特別会計の 赤字決算の話

令和5年度山添村一般会計補正予算の
専決処分の承認

令和5年度山添村国民健康保険特別会計補正予算の
専決処分の承認

令和5年度 山添村の予算

3月に開会された村議会定例会で、
令和5年度の予算が可決されました。
「やまぞえ未来創生計画」に基づいて
事業を実施していきます。

限られた財源をどのように活かして
いくのか、その概要をお知らせします。

図 総務課

55億7,243万円（前年比：0.1%）
認定こども園建設費用 6億7,169万円

一般会計 36億5,700万円（前年比：18.2%）
特別会計合計 19億1,543万円（前年比：22.6%）

会 計		令和5年度	令和4年度	前年度比	
一般会計		36億5,700万円	30億9,500万円	5億6,200万円	18.2%
特別会計		19億1,543万円	24億7,315万円	△5億5,772万円	△22.6%
特別会計の内訳	国民健康保険	6億3,092万円	6億2,931万円	161万円	0.3%
	後期高齢者医療	7,479万円	7,301万円	178万円	2.4%
	簡易水道	4億9,733万円	10億5,096万円	△5億5,363万円	△52.7%
	下水道事業	3,325万円	5,350万円	△2,025万円	△37.9%
	介護保険	6億3,561万円	6億2,322万円	1,239万円	2.0%
	基幹水利施設管理	4,353万円	4,315万円	38万円	0.9%
各会計予算総額		55億7,243万円	55億6,815万円	428万円	0.1%

特別会計

国民健康保険

診療所勘定

1億6千万円

事業勘定

4億7千万円

例年の概ねの金額です

広報やまぞえ 5月号

②国民健康保険特別会計の赤字の話

特別会計
国民健康保険
診療所勘定
事業勘定

1億6千万円

4億7千万円

例年の概ねの金額です

支出

収入

支出
診療所における医療に必要な経費

人件費
光熱費
薬剤購入費
器具など

一般会計から補填
(繰入金)

医療による収入

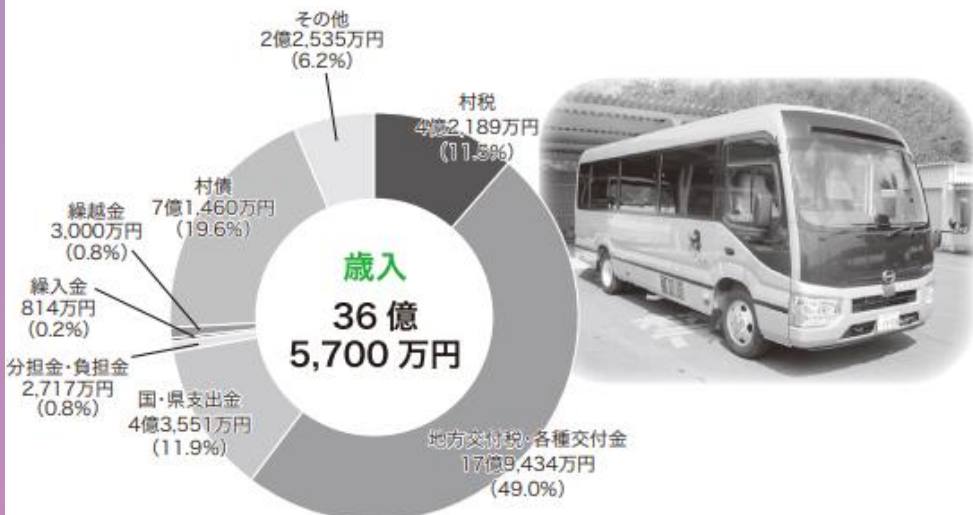
村の診療所の収入

②国民健康保険特別会計の赤字の話

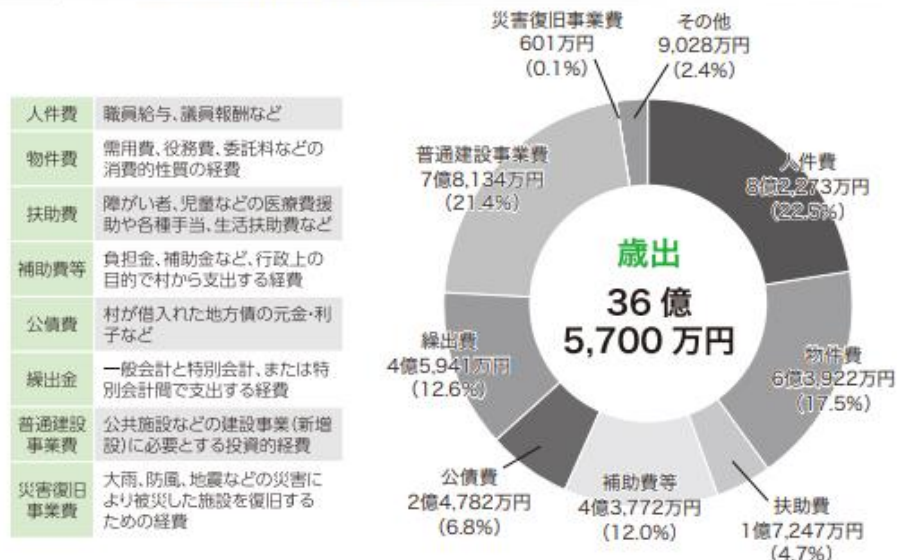
支出	収入
支出 診療所における医療に必要な経費 人件費 光熱費 薬剤購入費 器具など	一般会計から補填 (繰入金) 医療による収入 村の診療所の収入

国民健康保険特別会計への繰入金は、
例年5千万円前後

一般会計歳入



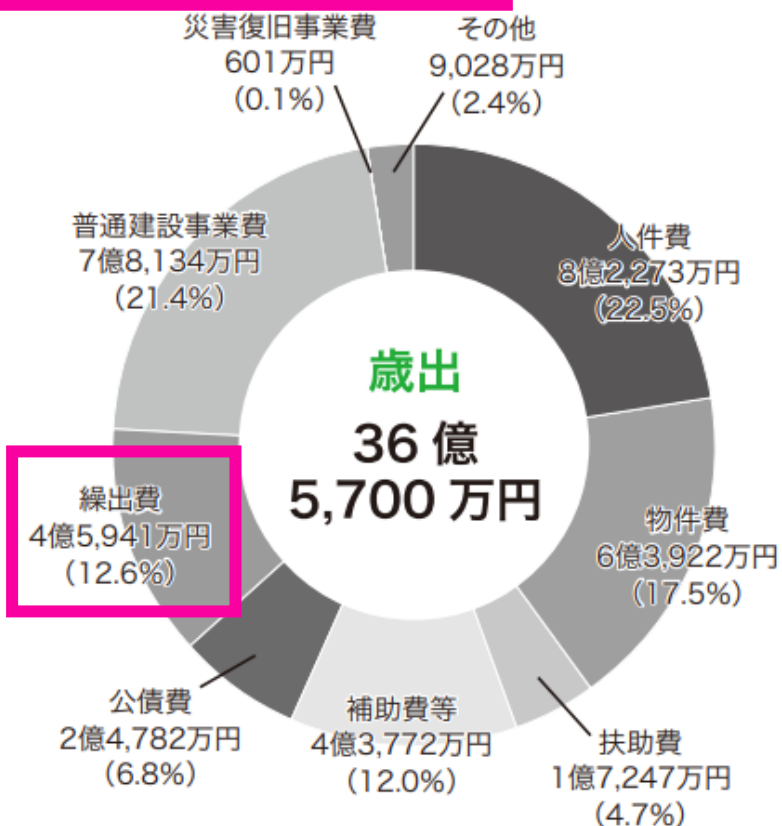
一般会計歳出（性質別）



人件費	職員給与、議員報酬など
物件費	需用費、役務費、委託料などの消費的性質の経費
扶助費	障がい者、児童などの医療費援助や各種手当、生活扶助費など
補助費等	負担金、補助金など、行政上の目的で村から支出する経費
公債費	村が借入れた地方債の元金・利子など
繰出金	一般会計と特別会計、または特別会計間で支出する経費
普通建設事業費	公共施設などの建設事業(新增設)に必要とする投資的経費
災害復旧事業費	大雨、防風、地震などの災害により被災した施設を復旧するための経費

一般会計歳出（性質別）

人件費	職員給与、議員報酬など
物件費	需用費、役務費、委託料などの消費的性質の経費
扶助費	障がい者、児童などの医療費援助や各種手当、生活扶助費など
補助費等	負担金、補助金など、行政上の目的で村から支出する経費
公債費	村が借入れた地方債の元金・利子など
繰出金	一般会計と特別会計、または特別会計間で支出する経費
普通建設事業費	公共施設などの建設事業(新增設)に必要とする投資的経費
災害復旧事業費	大雨、防風、地震などの災害により被災した施設を復旧するための経費



②国民健康保険特別会計の赤字の話

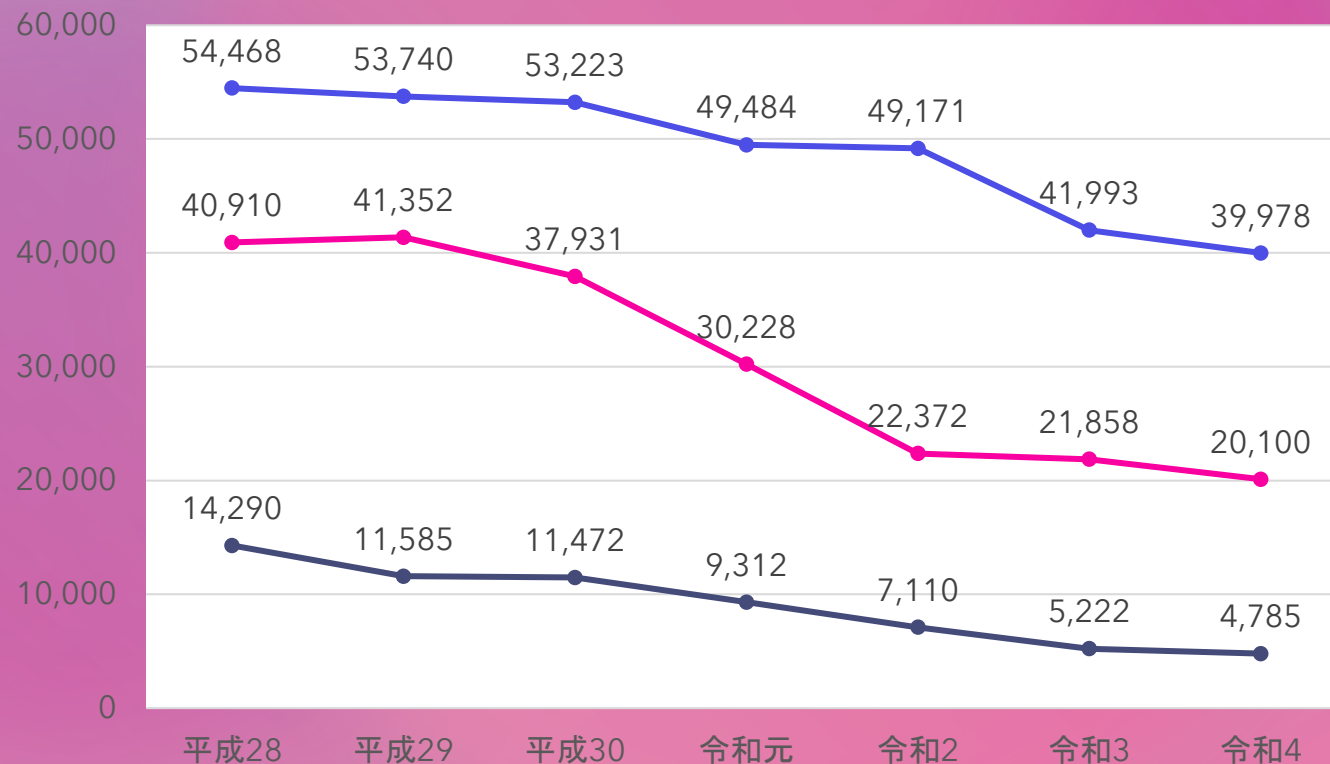
支出	収入
支出 診療所における医療に必要な経費	補填の遅れ
	一般会計から補填 (繰入金)
	医療による収入 村の診療所の収入

令和4年度の年度末に
950万円分の補填が
間に合わなかった！

令和5年度の一般会計から
補填した。

②国民健康保険特別会計の赤字の話

千円) 各診療所の診療収入の推移



—●— 東山 —●— 波多野 —●— 豊原

②6月議会（令和5年度第二回） 国民健康保険特別会計の 赤字の話

支出	収入
支出 診療所における医療に必要な経費 人件費 光熱費 薬剤購入費 器具など	補填の遅れ
	一般会計から補填 (繰入金)
	医療による収入 村の診療所の収入

今回の赤字には、
村の医療体制の変化に遠因がある。

公営診療所が黒字迫及する必要はないが、
村民の求める医療・安心を提供しているのか検討を！
私立の診療所も巻き込んで。
介護や福祉の関係者も。

自宅で最期をお迎えになった村民の数

	看取り数 (人)	広報発表数 (人)	住所地特例者 (人) *推定	推定死亡総数 (人) 推定	看取り率 (%) 推定
2019	8	77	15*	92	8.7
2020	10	67	15*	82	12.2
2021	8	64	10*	74	10.8
2022	9	68	6	74	12.2

国民の在宅看取り希望者は6～7割

奈良市の在宅看取り率 16%

最近のコロナワクチン事情

①5月～6月のコロナワクチン接種率（第6回）

（65歳以上か、基礎疾患を有する人）

60～65%程度

②野村医院でのワクチン接種 約3,500回

村全体では、約1万回以上

全国で最も安全なワクチン接種会場

（NPO我らはふるさと医療応援団の支援）

お金の話③

6月議会（令和5年度第二回）一般質問

★分校あり方検討委員会は、
なぜ村長が委嘱し、答申を求めたのか？

★本校化した場合の全日制高校の経費

山添分校の問題 分校は費用が嵩むと言うが、

令和4年度12月定例議会

私の一般質問に対する村長の答弁

ている。かつて、本校化に向けて活動が続けていた推進委員会が、2年近く開催されない状態が続いたが、11月4日に開催され、今後の動向に、卒業生に限らず、村民の関心は高まっている。今後分校の本校化にどのような問題があるのか。

【答 弁】

野村 村長

村立の本校化を目指し、準備会や本校化推進委員会を幾度となく開催されてきたが、令和3年3月「村の教育としては、まず保育園の統合、小中一貫教育、そして分校の本校化」という方針が出されて以降、本校化に向けての歩みは止まったままであった。村長就任当初は、本校化ありきの話をしていたが、昨年の会議では、分校の本校化に関しては、一から検討しなおすと話をした。

現在分校は、定員割れが続き、定員120名のところ、ここ10年、全校生徒は30名から50数名である。多くの生徒が県外出身である高校を村として存続させるべきなのか。加えて本校化にあたり、教員を含む複数名の職員を村で新たに採用しなければならず、本校化に伴う校舎の改築や耐震補強工事にあわせ、今後の財政負担の問題がある。現在の状況を総合的に判断すると、村立の高等学校として維持していくことは困難な状況にあると考える。

3月議会 奥谷議員の 一般質問に 対する 村長の答弁

検討しないのか。

【答 弁】

野村 村長

山添分校は、昭和24年、地元の村にとどまり、村づくり・家づくりに励む子ども達に教育の場をとの願いのもと、村の農業後継者の育成や教育の機会保障のために開校した。昭和40年ごろまでは、ほとんどが本村出身の生徒で、卒業後は村の農業普及を始め、村の発展に寄与された。そして、多くの方が現在も村内にお住まいである。その後、徐々に本村出身生徒が減少する一方、県外出身の生徒が増え、最近15年では本村出身生徒数は全校生徒の内、平均3、4名という状況にある。

高等学校は高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的としており、高校それぞれがめざす生徒像を明確にしなければならぬ。山添分校がスタートした当時は、分校の果たした役割は素晴らしいものであり、充分その使命を果たしてきたといえる。分校の村立本校化に際し、課題の一つは生徒募集。子どもたちが行きたい。保護者が行かせたい。地域の皆さんが支えてくれる魅力ある高校であるならば生徒は集まり、結果として高校は存続する。

今後とも間違いなく少子化は加速度的に進み、今後、少なくとも20年先を見据える必要があると考える。そのような中であっても、次のような

条件が揃えば本校化の光が見えてくる可能性があると考えている。

1 つ目は全日制にすることである。修業年限が4年の定時制課程は益々志願者減に向かい、代わって通信制課程の生徒が増えていく傾向にあると思われる。更に寄宿舎を建設し、村外からの生徒を広く受け入れ、定員割れをさせないことである。その上で、山添中学の殆どの卒業生を受け入れる体制をつくること。そして、個々の生徒に即したカリキュラムを編成し、教員数を増やし、そのカリキュラムに対応できるスタッフを揃えることである。そこに幼児教育、小中学校との連携を交えれば、村立校としての大きな意義や価値が生まれる。しかし、全日制の村立学校を維持するためには、教職員の人件費を含め維持管理費のすべてを村の財政で賄う必要があり、大きな負担となることが予想される。

2 つ目は、全国どこでもしかないという特色ある学校をめざすことである。めざすものが村にとって価値あるもの、村の少子高齢化、農業後継者不足、荒廃地の増加等の課題を、少しでも解決できるものでなければならぬ。更に村民の皆さんがそのような高校を望み、近隣市町村の協力が得られ、県や国が後押しされることが望まれる。地域資源を活かした取組や方向性について、あるいは関連大学や団体との連携、S

DGsの取組みを生かした方向性等のご意見をしっかりと検討する。ただ、山添分校は、今までも地域とのつながりを大切にし、個々のご意見を視野に入れ取組んできている。今後は、私の考えや議員の提案、また様々な方々からのご意見を聞き、それらを一つひとつ検証していきたい。

【質 問】

大谷敏治 議員

▼食の魅力の発信について

1 和紅茶の可能性と今後の取組みについて

それぞれの産地の気候風土を活かし個性豊かな質の高い紅茶づくりに取組む地域が増えている。これまで以上に国産志向の高まりや、安心で安全な国産茶葉で作る紅茶は、国内外ファンを拡大しつつある。その中において、村の和紅茶の取組みの状況はどうか。

2 山添ブランドを確立し、食の魅力をつくる観点からお伺いする。

①片平あかね、紅茶復活プロジェクトに代表されるようにブランド化をめざした取組みが行われているが、村のブランド化についてどのように考えているか。

②村の気候風土が生んだ食材や、その文化的価値など、食の魅力を発信することにより、村の地域振興に影響をもたらすと考える。2025年に大阪・関西万博を控え

山添分校の運営費用

学校の運営費は、どれくらい？

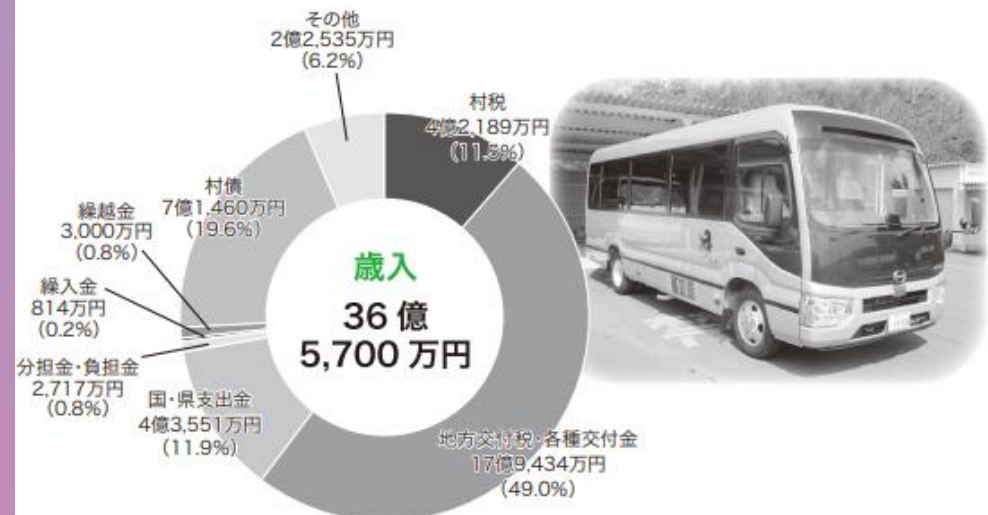
小学校～高等学校の「教育費」は、6千万円～1億円程度（村全体の総支出の3%以下）

この教育費のなかの学校管理費の比較（平成30年～令和4年を概ねの金額で提示）

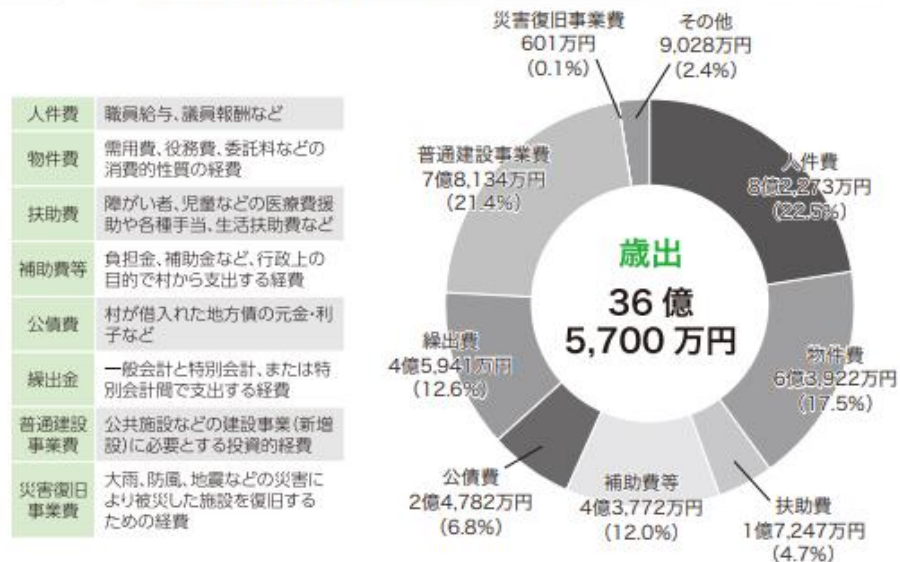
◎ 学校	学校管理費（決算額）	基準財政需要額	概ねの比率
山添分校	1200～1500万円	3100～3400万円	（40～48%）
山添中学校	1800～2500万円	2800～3000万円	（60～90%）
山添小学校	3000～3500万円	4500～4800万円	（70～80%）

（基準財政需要額とは、国からの地方交付税の算出の基になるもの）

一般会計歳入

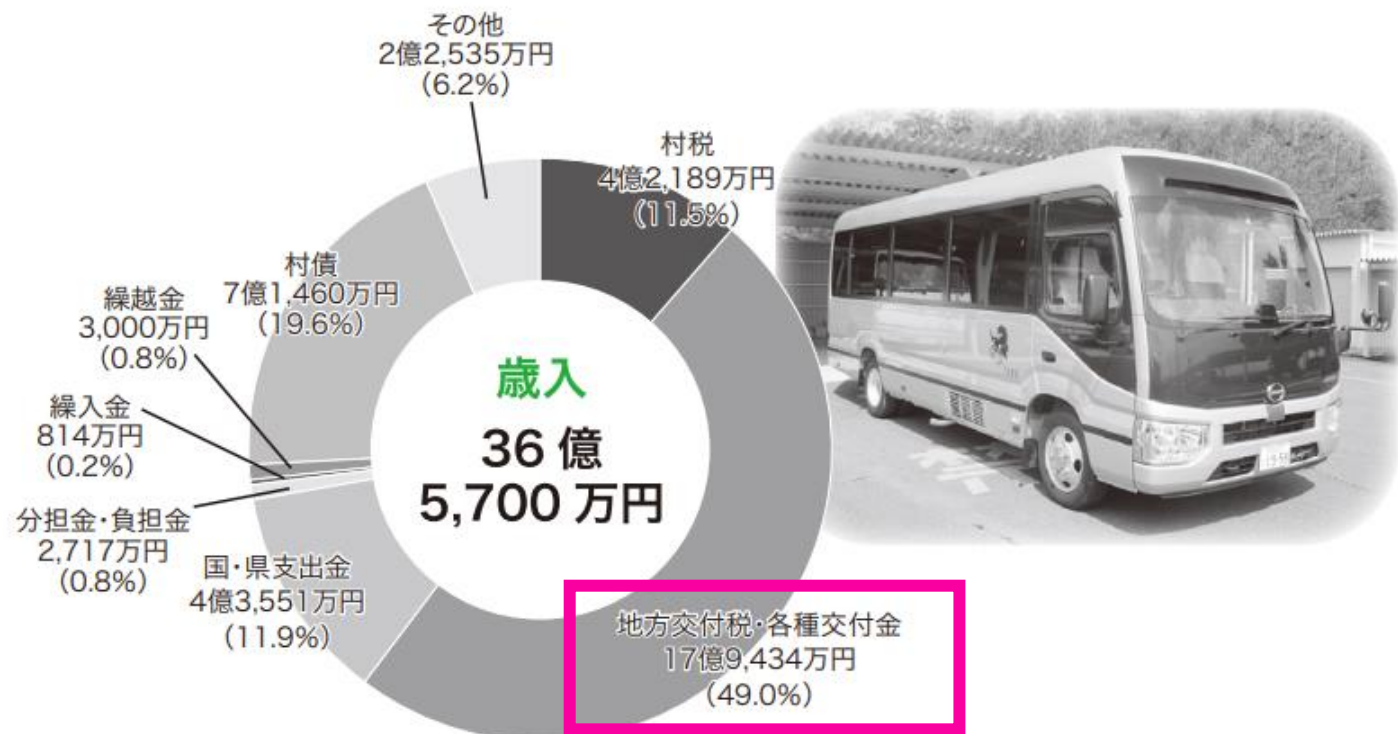


一般会計歳出 (性質別)



人件費	職員給与、議員報酬など
物件費	需用費、役務費、委託料などの消費的性質の経費
扶助費	障がい者、児童などの医療費援助や各種手当、生活扶助費など
補助費等	負担金、補助金など、行政上の目的で村から支出する経費
公債費	村が借入れた地方債の元金・利子など
繰出金	一般会計と特別会計、または特別会計間で支出する経費
普通建設事業費	公共施設などの建設事業(新増設)に必要なとする投資的経費
災害復旧事業費	大雨、防風、地震などの災害により被災した施設を復旧するための経費

一般会計歳入



山添分校の問題

山添分校の学校管理費の内訳（この数年間の概ねの金額）

- ・報酬 500万円 （会計年度任用職員報酬）
- ・給与 170万円 （会計年度任用職員給）
- ・職員手当 100万円 （通勤手当や期末手当）
- ・共済費 100万円 （会計年度任用職員社会保険料など）
- ・報償費 30万円 （学校歯科医、薬剤師、進路指導報償金など）
- ・需用費 250万円 （消耗品、燃料費、光熱水費など）
- ・賃貸料 130万円 （複写機借上料、教育タブレットリース）
- ・備品購入 60万円 （図書や器具購入）

山添分校の運営費用

山添分校の学校管理費は、なぜ、これだけで済んでいるのか？

現在の分校スタッフ

教頭1名、講師・教諭・非常勤講師18名（教師19名）、実習助手1名、校務員1名

公立の定時制高等学校教員は、原則として都道府県費で雇用。

（市町村立学校職員給与負担法第2条）。

仮に、このまま本校化するすれば、

さらに、校長1名、事務長1名、指導主事1名（学校教育法施行規則第82条）、

さらに、非常勤講師数名が必要になる。

県費で雇用される校長以外の職員の給与が村負担となる（2500万円前後か）。

山添分校の運営費用

このまま分校が**定時制のまま本校化**したら、運営費は、どれくらいになるか？

この教育費のなかの学校管理費の比較（平成30年～令和4年を概ねの金額で提示）

◎ 学校	学校管理費（決算額）	基準財政需要額	概ねの比率
山添本校	3500～4000万円	3100～3400万円	(110～130%)
山添中学校	1800～2500万円	2800～3000万円	(60～90%)
山添小学校	3000～3500万円	4500～4800万円	(70～80%)

（基準財政需要額とは、国からの地方交付税の算出の基になるもの）

その他、校長室や教室の整備などに、1000万円程度（単年で済む）
耐震工事は、本校舎は完了済み

山添分校の問題

このまま分校が全日制として本校化したら、運営費は、どれくらいになるか？

この教育費のなかの学校管理費の比較（平成30年～令和4年を概ねの金額で提示）

◎ 学校	学校管理費（決算額）	基準財政需要額	概ねの比率
山添本校	1億1,000～1億3,000万円	1億2,500～13,000万円	
山添中学校	1800～2500万円	2800～3000万円	（60～90%）
山添小学校	3000～3500万円	4500～4800万円	（70～80%）

（基準財政需要額とは、国からの地方交付税の算出の基になるもの）

その他、校長室や教室の整備などに、1000万円程度（単年で済む）
耐震工事は、本校舎は完了済み

県立高校の村立分校（教員数19名）があることで、
山添村だけでなく、**奈良県にも**、
国から地方交付税が交付されている。

★村への基準財政需要額 毎年 約3,400万円（概算）
約2,600万円 教師4人分の経費（約650万円 x 4）
約 860万円 在校生徒数に応じた経費

★県への基準財政需要額 （概算）
約9,800万円 教師15人分の経費（約650万円 x 15）

（基準財政需要額とは、国からの地方交付税の算出の基になるもの）

★分校あり方検討委員会は、
10月議案が委員5年度第1回求め一般質問?

★本校化し全日制高校の経費
教育長から「9,800万円が必要です」

解説 本校化した場合、増額されるであろう基準財政
需要額（見込み）と同額。

やる気があれば、
教育をすることに
(高等学校を存続することに)
国や県から支援がある。

**誰のやる気？
なんのために？
どんなことを？
いつから？**

3月議会 奥谷議員の 一般質問に 対する 村長の答弁

検討しないのか。

【答 弁】 野村 村長

山添分校は、昭和24年、地元の村にとどまり、村づくり・家づくりに励む子ども達に教育の場をとの願いのもと、村の農業後継者の育成や教育の機会保障のために開校した。昭和40年ごろまでは、ほとんどが本村出身の生徒で、卒業後は村の農業普及を始め、村の発展に寄与された。そして、多くの方が現在も村内にお住まいである。その後、徐々に本村出身生徒が減少する一方、県外出身の生徒が増え、最近15年では本村出身生徒数は全校生徒の内、平均3、4名という状況にある。

高等学校は高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的としており、高校それぞれがめざす生徒像を明確にしなければならぬ。山添分校がスタートした当時は、分校の果たした役割は素晴らしいものであり、充分その使命を果たしてきたといえる。分校の村立本校化に際し、課題の一つは生徒募集。子どもたちが行きたい。保護者が行かせたい。地域の皆さんが支えてくれる魅力ある高校であるならば生徒は集まり、結果として高校は存続する。

今後とも間違いなく少子化は加速度的に進み、今後、少なくとも20年先を見据える必要があると考える。そのような中であっても、次のような

条件が揃えば本校化の光が見えてくる可能性があると考えている。

1つ目は全日制にすることである。修業年限が4年の定時制課程は益々志願者減に向かい、代わって通信制課程の生徒が増えていく傾向にあると思われる。更に寄宿舎を建設し、村外からの生徒を広く受け入れ、定員割れをさせないことである。その上で、山添中学の殆どの卒業生を受け入れる体制をつくること。そして、個々の生徒に即したカリキュラムを編成し、教員数を増やし、そのカリキュラムに対応できるスタッフを揃えることである。そこに幼児教育、小中学校との連携を交えれば、村立校としての大きな意義や価値が生まれる。しかし、全日制の村立学校を維持するためには、教職員の人件費を含め維持管理費のすべてを村の財政で賄う必要があり、大きな負担となることが予想される。

2つ目は、全国でここぞしか学べないという特色ある学校をめざすことである。めざすものが村にとって価値あるもの、村の少子高齢化、農業後継者不足、荒廃地の増加等の課題を、少しでも解決できるものでなければならぬ。更に村民の皆さんがそのような高校を望み、近隣市町村の協力が得られ、県や国が後押しされることが望まれる。地域資源を活かした取組や方向性について、あるいは関連大学や団体との連携、S

DGsの取組みを生かした方向性等のご意見をしっかりと検討する。ただ、山添分校は、今までも地域とのつながりを大切にし、個々のご意見を視野に入れ取組んできている。今後は、私の考えや議員の提案、また様々な方々からのご意見を聞き、それらを一つひとつ検証していきたい。

【質 問】 大谷敏治 議員

▼食の魅力の発信について

1 和紅茶の可能性と今後の取組みについて

それぞれの産地の気候風土を活かし個性豊かな質の高い紅茶づくりに取組む地域が増えている。これまでに以上国産志向の高まりや、安心で安全な国産茶葉で作る紅茶は、国内外ファンを拡大しつつある。その中において、村の和紅茶の取組みの状況はどうか。

2 山添ブランドを確立し、食の魅力をつくる観点からお伺いする。
①片平あかね、紅茶復活プロジェクトに代表されるようにブランド化をめざした取組みが行われているが、村のブランド化についてどのように考えているか。

②村の気候風土が生んだ食材や、その文化的価値など、食の魅力を発信することにより、村の地域振興に影響をもたらすと考える。2025年に大阪・関西万博を控え

③6月議会（令和5年度第二回） 一般質問

★分校あり方検討委員会は、
なぜ村長が委嘱し、答申を求めたのか？
教育長から「村の大事なことなので」

★本校化し全日制高校の経費
教育長から「9,800万円が必要です」

分校のことを話し合う 村の公的な会合や委員会

①山添村教育委員会定例会

②山添分校本校化推進委員会 廃止

③山添分校の在り方検討委員会 5月31日～
村長から委嘱 一般公募からも4名
永谷義博氏（分校同窓会長）委員長
今年9月に、如何にあるべきか答申を出す予定

立村70年に向けて

1956年（昭和31年）

山添村発足

2026年（令和8年） 70周年！

終戦から約80年

団塊世代が八十路に

山添村・立村70年に向けて

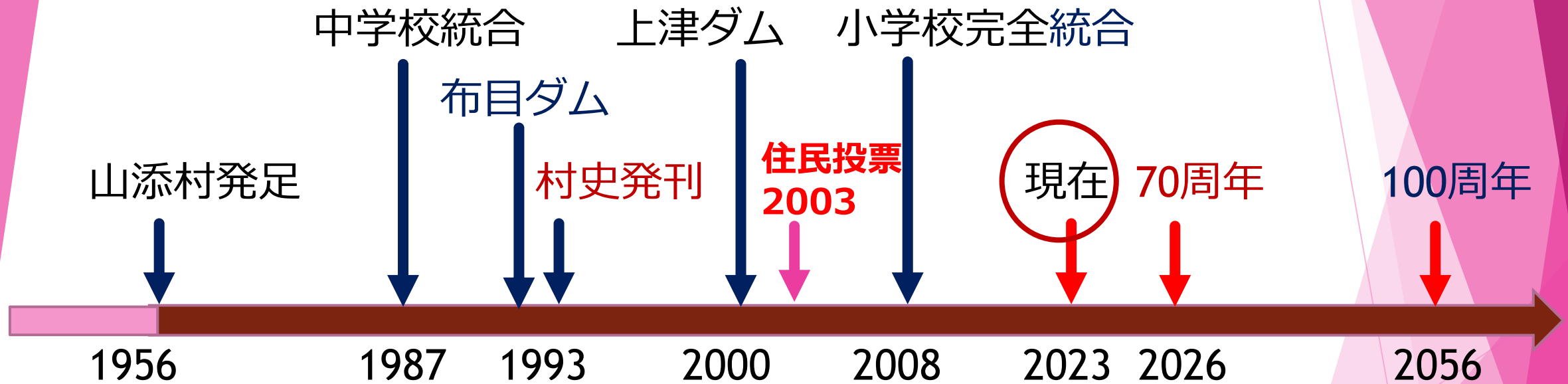
かつて存在した山添村

山形県山添村 1889～1952（63年で廃村）

岐阜県山添村 1897～1950（53年で廃村）

私たち山添村 1956～？（現在67年目）

立村70年に向けて



今年は、あの住民投票から20年！

2003年の住民投票で合併を選択していたら？

歴史に「もし」はないが、、

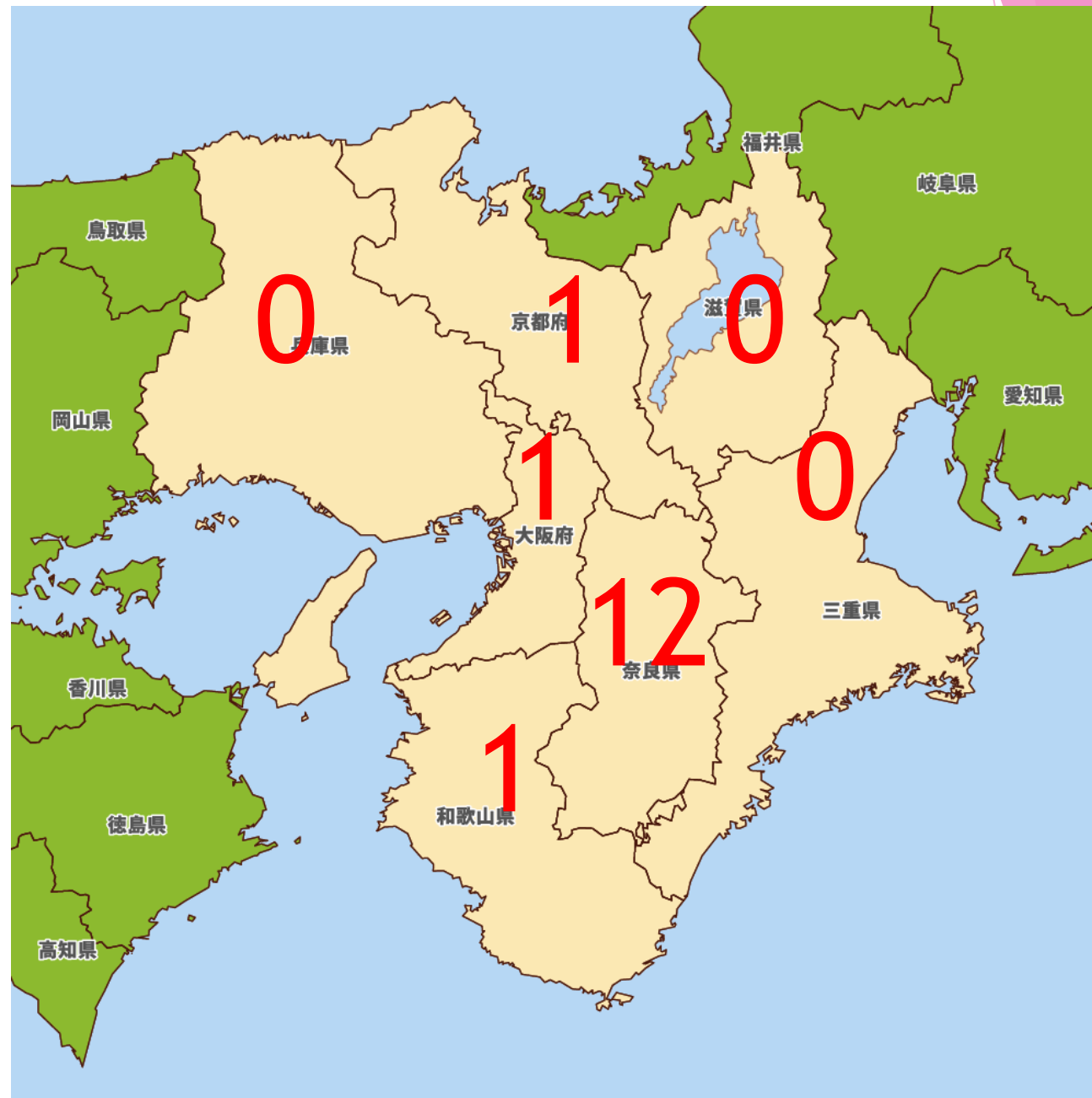
今、自分たちがこの地域の担い手だ
という意識は維持できただろうか？

今年は、住民投票から20年！

**山添村民 = 山添国人
= 大和高原人**

立村70年に向けて

全国に村は183村
(北方領土を除く)
近畿地方に15村



山添村から、大和高原から、
生き方、豊かさを発信！



三宅議員、伊川健一氏に
バトンを譲ります。

次の三枚は
質疑応答で
使用

2023 やまぞえ 絆リレー 11/3 金祝

会場：スポーツセンター

①31カ大字の神社を繋ぐ

トーチリレー

②村内・近隣のグルメ

キッチンカー・飲食ブース

③村内で手作りの

トーチ・メダル展示

当日会場内
で放送予定
後日 11ch 放送

事前走者募集

当日、縄文
コスプレで
走ろう!!

当日走者募集

走者にメダル
プレゼント!!
数に限りがあります

同時開催
山添村分校
文化祭

主催 やまぞえ絆リレー 2023 実行委員会

後援 山添村、山添村教育委員会、山添村社会福祉協議会、山添村商工会
お問い合わせ 電話000-000-0000

- 11月3日（祝）
分校の文化祭と呼応して
- スポーツセンターにて開催



私も
参加しています！
いっしょに始めよう！

【ここさと】
先進的な
社協さんの
取り組み



ありがとうございました
最後にアンケートに
お答えください

